

(様式1) 補助金等シート  
(1) 補助内容

教育支援課-1  
令和8年度予算用

1	名称 (予算事業名)	鈴鹿市PTA連合会活動補助金										
		予算事業名	青少年対策諸費									
		予算事業コード	00942									
2	交付開始年度	昭和	51	年度	創設から	51	年度目	3	終期	令和	8	年度
4	分類	事業費補助					5	所属	教育支援課			
6	根拠法令	鈴鹿市補助金等交付規則、鈴鹿市補助金等交付要綱										
7	事業の目的・概要	学校や家庭、地域での子どもの健全育成に取り組む鈴鹿市PTA連合会の活動に対して、事業費の一部を補助する。										
8	補助対象者	鈴鹿市PTA連合会										
	交付先(補助対象者と異なる場合)											
9	補助金額等	(単位:千円)	補助対象事業費(A)	財源内訳				補助率(B/A)	補助対象事業費の繰越額(C)	補助金に対する繰越金の割合(C/B)		
				市補助金(B)	国補助金	県補助金	その他					
		R5年度決算額	880	440	0	0	440	50.0%	0	0.0%		
		R6年度決算額	880	440	0	0	440	50.0%	0	0.0%		
		R7年度当初予算額 R8年度予算要求額	880 880	440 440	0 0	0 0	440 440	50.0% 50.0%				
10	補助対象事業費の内訳(具体的に記載)	【安全安心推進事業】 ○子どもを守る家関連費(保険加入、ステッカー、プレートの作成) ○交通安全啓発物品作成費(注意喚起看板等の作成) 【健全育成事業】 ○子育てに関する講演会や研修会に係る費用 ○PTA活動広報発刊に関する費用										
	補助金等の算出根拠(具体的に記載)	補助対象事業費の1/2を補助										
	増減理由	子どもの安全安心確保のため、増減なし。										

(2) 補助金等判断基準

11	総合評価点	19	12	適否の評価	継続
13	補助金等の判断基準	評価点	評価の理由		
	必要性	5	市内において、鈴鹿市PTA連合会が主体となって実施している「子どもを守る家」は、PTAのみならず、地域全体で子どもの安全安心を見守っていく活動である。青少年健全育成活動のみならず、学校や家庭での教育活動推進に寄与している。		
		(減点) 0			
	公平性	4	市内のほぼすべての幼小中学校が加入している。(令和6年度1中学校脱会)		
	効果性	5	【評価の理由】 小学校単位で、子どもを守る家の募集を行い、地域全体で活動を広げており、子どもたちの見守りと安全安心に効果は高い。		
【補助金等の交付により得られる効果・実績・目的の達成状況(具体的に記載)】  子どもを守る家の確保を進めている。					
透明性	5	事業計画に沿った活動を行っている。PTA会員から会費を徴収し、自主財源の確保も行っている。			
	(減点) 0				

(3) 終期延長の理由(終期を延長した初年度のみ記入) 前回終期 令和7年度

鈴鹿市全体のPTA活動を進める上で、必要不可欠な事業であるため。